



な かの ま ひ と し

中山均

新潟市議会議員

NO WARI
NO NUKESI



誰も見捨てない政治を新潟に!

中山均 プロフィール

- ★ 新潟市議会議員(現在4期目) 歯科医・歯学博士
1959年 黒埼町大野(現新潟市西区)の中山金物次男として生まれる。
- ★ 黒崎中学・新潟高校・新潟大学歯学部卒。学生時代から市民活動に参加、さまざまな社会活動に関わる。
- ★ 新潟大学・北海道大学などで癌の診断・治療や医療情報学分野に携わる。
- ★ 災害医療ボランティアなど、地域医療にも貢献。
- ★ 専攻した放射線医学の知識を活かし、原発問題に取り組む。
- ★ 全国の超党派の自治体議員連盟「福島原発震災情報連絡センター」の共同代表や「気候危機・自治体議員の会」などの役員を務める。
- ★ 「緑の党グリーンズジャパン」共同代表。
- ★ 青山4丁目在住、町内会の役員としても活動中。

中山は「ストップ!気候危機 2023 統一選アクション」に参加しています
: <https://cedgiin.jimdofree.com/action2023/>



中山均 を市政に送る会

◆ 寺尾臨時事務所 : 〒950-2055 新潟市西区寺尾上4-1-15 TEL: 025-230-6442 (不在時はスタッフや中山の携帯に転送されます)
◆ 大野町事務所 : 〒950-1111 西区大野町2939-1 FAX: 025-377-2013 E-mail: office.nakayama14@gmail.com



- 西区のお知り合いを はがき・メール・FAXにてご紹介下さい!
- ボランティアスタッフ募集中!
- 活動費助カンパをお願いします!

銀行口座: 第四銀行新潟市役所出張所
(普)5004569 「中山均を市政に送る会」

郵便振替: 00570-5-78387
「中山均を市政に送る会」

- 坪田 義浩 (西区坂井・友人)
- 鶴田 雅英(原爆の丸木美術館代表理事)
- 戸松 茂雄(高校同期)
- 内藤 義隆(歯科医)
- 中島 民雄(新大元教授・口腔外科医)
- 中村 哲也(新大名誉教授)
- 中山 望(会社員)
- 中山 徹(医師)
- 西山 五郎(真面目にやってる「居酒屋五郎」主人)
- 羽ヶ崎 章(フリエニコ・一級建築士)
- 深町 博臣(歯科医)
- 藤橋 夏子(友人)
- 三澤 晴一(西区島原)
- 柳 弘紀(子ども劇場新潟県センター事務局長)
- 山田 達也(元新潟市議)
- 山田 洋子(松海が丘・友人)
- 横山 由美子(友人・サインにいかた)
- 吉田 博朗(居酒屋「まえる」主人)
- 吉原 直毅(マサチューセッツ大教授・経済学、新潟出身)
- (五十音順、2023年1月現在。第二版に向けさらに募集中)

- 安部 恒(歯科医)
- 泉田 隆一(西区島原)
- 稲村 孝夫(西区真砂2)
- 井上 経久(市民映画館「ネオキア」支配人)
- 大高 正嗣(季節芸術家)
- 大西 洋司(医師)
- 岡田 匠(新潟県歯科医師連盟新潟支部長)
- 岡田 朋子(友人・歯科医)
- 小川 弘幸(文化現場)
- 重川 隆廣(県会議員)
- 勝良 剛嗣(大学病院・歯科医)
- 亀貝 大治(カマフラ・トクザイン)
- 唐澤 直秀(居酒屋「たらふく」)
- 倉島 良舟(高校同期)
- 黒岩 卓夫(医療法人萌気会会長)
- 黒岩 咲子(社会福祉法人桐鈴会理事長)
- 小林 茂(「ピクミン」映画監督)
- 小林 富貴子(教育研修センター協合理事長)
- 小林 正弘(元教員)
- 近藤 正道(弁護士・元参議院議員)
- 齋藤 暢・佳織(「28&vin」店主)
- 斎藤 康子(「イマソ」ネット・ク代表)
- 佐々木 寛(大学教授)
- 鈴木 利枝(連れ合い・歯科医)
- 関 正明(関屋堀割町)
- 高橋 千洋(友人)
- 滝沢 英栄(西区島原)
- 高見 優(高齢者福祉団体役員)
- 武田 真彦(ささぎあいコミュニケーション生活協同組合新潟)
- 田中 しのぶ(友人・会社員)
- 田邊 慶直(高校同期・歯科医)
- 田巻 明恒(演劇研究者)

私たちも中山均を応援します!

誰も見捨てない「緑の政治」を創る — 活動の足あととこれから —

ひとりひとりの声に寄り添う政治へ —「3.11」大震災は原点

2011年の「3・11」東日本大震災の翌日、中山は仲間達とともに救援物資を積んで直ちに現地へ。現状を見て回るとともに、災害時だけでなく平時でも「必要な人に必要なサービスや物を届ける」ための政治が重要であること、そして原発の危険性だけでなく経済や社会のありようが問われていることを確信しました。これが2期目以降の「原点」となり、中山は議会内外で活動を積み重ねています。



行動と提案で議会と政治を動かす

中山は、さまざまな現場で培った経験やネットワークを活かした提案で、これまでも市政を動かしてきました。中山が提案した「環境配慮型電力入札」は、4年間換算で1億円以上の経費と1万トン以上のCO2削減を実現。市内で頻発する災害では現場を駆け回り、市民の皆様の声を聞きながら迅速に課題を把握。信濃川堤防に穴を開けない簡易型ポンプの設置の実現にも貢献しました。



▲小学校の基準超えの危険なブロック塀。長年放置されていたことが中山の調査で判明



▲「3.11」大震災翌日、いわき現地へ

危険なブロック塀の中山の独自調査や提言は、公共施設での対策や撤去制度の創設へとつながっています。議員特権の見直しなどでも積極的に発信し、変革してきました。また、柏崎刈羽原発問題では、中山の独自調査や指摘によって、東京電力だけでなく、規制組織のずさんさをたびたび明らかにし、世論を大きく動かししました。その他、さまざまな課題で質疑や提案を重ね、成果を得ています。



▲中山の提案で実現した環境配慮型電力入札は10kw型太陽光パネル470台分と同等のCO2削減効果を実現



▲避難者支援で新潟県に協力要請



▲中山の調査や主張は、国内外の新聞等で報じられる

社会の変化と私たちの暮らし

この数年間の社会の大きな変化は、私たちの暮らしにも大きな影響を与えています。2019年末から始まった新型コロナウイルス拡大は、この社会の脆弱な医療福祉体制を露わにしなが大きな危機をもたらし、これまでの人や地域のつながりを変えてしまいました。また、進行する気候変動は、集中的な豪雨災害や大雪など、この新潟にも影響を与えています。



そして、昨年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻は、多くの人命を奪っているだけでなく、エネルギーや資源・食料危機をもたらし、物価高や光熱費の高騰へとつながっています。その中で突然示された軍事費増額は、自治体のサービスや私たちの暮らしをさらに直撃することになります。エネルギー危機や温暖化対策を口実に再稼働の可能性が高まっている柏崎刈羽原発再稼働問題も、新潟市民にとっても深刻で重大な問題です。



新しい時代の新潟市政—「緑の政治」の実現へ

新潟市は、こうした社会の変化に加え、人口減少、地域経済や市民所得の低迷、「財政改革」による市民サービスの削減、脆弱な公共交通など、多くの課題を抱えています。地域の暮らしや経済を守り、「誰も見捨てない政治」への責務を、新潟市は果たさなければなりません。



そのために、中山は、これからも皆様の声をお聞きしながら、ひとりひとりのいのちや暮らしに寄り添い、地域の豊かな自然環境と人びとのつながりの中で、質素でも心豊かに暮らすことのできる地域社会に向けて、「緑の政治」の実現のため、活動を重ねていきます!

